

FURUTECH

Review

Audio Accessory

2012 SUMMER 145 - Japan

Audio Accessory 季刊オーディオアクセサリ

人気スピーカーと組み合わせる！
新時代のプレミアムアンプ決定版スクランブル

●ここから読める！1.オーディオコンポ・アンプ編 2.ヘッドホン編 3.スピーカー編 4.オーディオケーブル編 5.オーディオアクセサリー編 6.オーディオ機器のメンテナンス編 7.オーディオ機器の修理編 8.オーディオ機器の購入編 9.オーディオ機器の活用編 10.オーディオ機器の活用編 11.オーディオ機器の活用編 12.オーディオ機器の活用編

特別付録CD Intec 'Classic Sound Tour in JAPAN'



2012 SUMMER 145 使いこなし&グレードアップ情報が満載!



ADL ESPRIT

¥71,400 DAC/デジタルプリアンプ

●サンプリング周波数:96kHz/24bit(再生),32/44.1/48/96kHz(録音),192kHz/24bit(COAXIAL, TOS) ●周波数特性:20Hz~20kHz ●SN比:95dB(A-wtd, ライン出力) ●ヘッドホン出力レベル:156mW(16Ω), 224mW(32Ω), 241mW(56Ω), 130mW(300Ω), 76mW(600Ω) ●サイズ:150W×57H×141Dmm ●質量:約970g



入力はRCA×2, 同軸デジタル×1, 光デジタル×1, 出力はRCA×1, 光デジタル×1, ヘッドホン×1, USB(B端子)は入出力に対応。USB入力のmD変換して出力できるデジタル出力(TOS)を装備

ジャズはパーカッションのアタックが速く、鮮烈な印象が前面に出る。ベースは最低音まで切れが良く、弦のテンションの高さがしっかり伝わってきた。ボーカルは音像が引き締まり、輪郭ににじみ

**鮮烈な印象が前面に出て
解像度の高さが実感できる**

解像度の高さが実感できる。ジャズはパーカッションのアタックが速く、鮮烈な印象が前面に出る。ベースは最低音まで切れが良く、弦のテンションの高さがしっかり伝わってきた。ボーカルは音像が引き締まり、輪郭ににじみ

PCを核にしたデスクトップオーディオで1ランク上のクオリティを狙う人にお勧めの製品である。

ヘッドフォンアンプとしてのクオリティも侮れない。シユアリーの密閉型ヘッドフォンとの組み合わせでは中高域にかけての情報量の余裕が感じられ、ゼンハイザーのイヤフォンでは本機のアクティブでクリアな描写力とスピード感が際立ち、主張のはっきりとしたサウンドを引き出した。

**ヘッドフォンアンプも侮れない
ブランドの主張を明確に引き出す**

ヘッドフォンアンプとしてのクオリティも侮れない。シユアリーの密閉型ヘッドフォンとの組み合わせでは中高域にかけての情報量の余裕が感じられ、ゼンハイザーのイヤフォンでは本機のアクティブでクリアな描写力とスピード感が際立ち、主張のはっきりとしたサウンドを引き出した。

ADLブランドの最新製品 ヘッドフォンアンプ内蔵DACの上位モデルが登場 デジタル/アナログ両方のデータ録音も可能に

SPDIFは192kHzに対応
プリアンプとしても活用できる

高音質ケーブルやケーブル関連アクセサリーで知られるフルテックが新ブランドADLを創設し、PCオーディオ関連機器の開発に積極的に取り組んでいる。ポータブルヘッドフォンアンプのCRUISEやSTRIDEなど、アクセサリメーカーの強みを生かしたユニークな製品開発は海外でも注目を集めており、新ブランドの認知度も上がり始めた。本機は同社がGT-40の上級モデル

として投入するヘッドフォンアンプ内蔵DACの最新モデルで、USBへの対応はもちろん、GT-40と同様、A/Dコンバーターも内蔵する多機能機だ。USB入力は非同期モードをサポートし、最大96kHz/24bitに対応。USBチップにTENORのTE7022Lを搭載するほか、DACはウォールフジのWM8716、ADCはシラスロジックのCS5361をそれぞれ採用しており、SPDIFでは最大192kHz/24bitまでの対応を果たしている点が注目だ。一部機能はバスパワーでも動作

するが、ハイレゾ音源再生など負荷の大きい通常動作では付属のACアダプターを使うのが基本だ。

ブラック仕上げの本体はフロントパネルにヘアライン処理を施し、アルミ削り出しの操作ツマミや入出力端子の質感も高く、上級機らしい高級感がある。特に背面のRCAピンジャックはフルテック製の端子を採用しており、高精度な作りと信頼性の高さが自覚だ。

USB DAC内蔵プリアンプとしての動作では開放感と力強さが両立したサウンドを再生し、ボーカルやピアノの音像が積極的に前に出てくる力強い一面も見せた。女性ボーカルはどちらかというとスリムなイメージだが、音色の透明感が高く、抜けの良さを印象付ける(USBケーブルは同社のFORMULA2を使用、以下同じ)。



●Text by
山之内正
Tadashi Yamamoto